

## 1 事業室のミッション

本事業は、情報通信技術（ICT）を利用した教育の実施のための環境を整備・運用し、利用を支援するものである。具体的には、教育基盤となる学習教育クラウド基盤の維持・管理・運用、教育に必要な学習管理システム（LMS）関連サーバ、ならびにプログラミング学習サーバの維持・管理・運用、学生 PC 必携化など教育 DX 推進に必要な支援など、関連事業を行う。

### (1) 学習教育クラウド基盤

### (2) 教育情報システム

- ① 学習支援システム等(九州大学 Moodle、Metaboard、B-QUBE)サーバ
- ② プログラミング学習サーバ
- ③ オンライン研修システム

### (3) 学生 PC 必携化など教育 DX 推進に必要な支援

### (4) アンケートシステム

## 2 事業計画等

### (1) 学習教育クラウド基盤（1の(1)）

- サービス内容
  - 商用パブリッククラウド上に教育情報システムを運用するための基盤を整備し、運用を行う。
- 対象
  - 学部学生、大学院学生、教職員
- 将来ビジョンと今年度の計画
  - 教育・学習支援に関連するシステムを柔軟に立ち上げてサービス展開を行いやすくできるように教育基盤の運用ルールを検討する。1の(2)の教育情報システムの安定運用に努める。
- 特記事項
  - なし

### (2) 学習支援システム等サーバの維持・管理・運用（1の(2)の①）

- サービス内容
  - 学習管理システム、デジタル教材配信システム、ダッシュボードシステムなどのサーバの管理・運用を行う。
- 対象
  - 学部学生、大学院学生、教職員
- 将来ビジョンと今年度の計画

- クラウド基盤の利点を活かして、利用が集中する学期開始後はサーバの機能を一時的に増強させるなど柔軟なサーバの構成変更を行い、システムの安定運用を行う。
- LAC (Learning Analytics Center)と連携して、学習履歴の収集・分析、教育の改善に協力する。
- データ駆動イノベーション推進本部のラーニングアナリティクス部門と協力して、教育データ利用のワンストップサービスを展開するための検討・準備を進める。特記事項
  - なし

(3) プログラミング学習サーバの維持・管理・運用 (1の(2)の②)

- サービス内容
  - プログラミング学習用のサーバを運用する。
- 対象
  - 学部学生、大学院学生、教職員
- 将来ビジョンと今年度の計画
  - 学外からも利用可能な本サーバの運用を継続する。
  - Web ブラウザ上でプログラミングを行える環境を提供する。
- 特記事項
  - なし

(4) オンライン研修システムの維持・管理・運用 (1の(2)の③)

- サービス内容
  - 研修のための e ラーニング用コンテンツを扱う Web ベースの学習環境を提供する。
- 対象
  - 学部学生、大学院学生、教職員
- 将来ビジョンと今年度の計画
  - 利用者からのフィードバックに基づき、利便性の向上を目的としたシステムの整備を進める。
- 特記事項
  - なし

(5) 学生 PC 必携化など教育 DX 推進に必要な支援 (1の(3))

- サービス内容
  - 学部新生が保有する PC に、必要なソフトウェアのインストール、各種環境設定を行えるように、Web ページにマニュアルを用意し、新生が PC の設定を自分で行えるように必要な準備を行う。
  - 大学院の新生向けに対しても同様に、PC の設定を自分でできるような資

料を準備し、提供する。

- オンライン研修システムを活用して、情報倫理と Office の自習用教材を提供する。特に新入生には、教材の利用を強く推奨する。
- データ駆動イノベーション推進本部のラーニングアナリティクス部門と協力して、PC の設定やシステムの利用方法などへの教育・学習に関する問い合わせに対して、窓口をワンストップ化して自動応答するシステムを運用する。

- 対象

- 学部学生、大学院学生、教職員

- 将来ビジョンと今年度の計画

- ラーニングアナリティクスセンター、基幹教育院、学務部学務企画課、学生主体組織と連携して、安定的に運営できる体制を整備し、より効率的な支援の方法の検討とその実現に向けた取り組みを行う。
- より多くの新入生に「情報倫理」、「よくわかる Office」などの自習用教材を使用してもらえよう検討を進める。

- 特記事項

- なし

#### (6) アンケートシステムの管理・運用（1の(4)）

- サービス内容

- 匿名回答を収集できるアンケートシステムを運用する。回答者を本学構成員に限定、学内だけに限定、学外者も含め誰でも回答できる匿名アンケートを行えるサービスを提供する。

- 対象

- 教職員

- 将来ビジョンと今年度の計画

- 引き続き、本システムの運用を継続する。

- 特記事項

- なし

#### (8) 教育情報環境整備に関する支援

- 教育情報環境の整備等に関する相談窓口を設置する。

### 3 備考

なし